

平成25年度 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会 事業報告書

(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

平成25年度は、下記の重点事業に沿って、関係機関や団体と密接に連携・協働しながら、各種事業に取り組みました。

平成21年度から開始し、全国でも高い評価を得た大田原市の安心生活創造事業におきましては、黒羽・佐久山・紫塚地区の取り組みを基に、平成24年度に親園・大田原西部地区を、平成25年度には大田原東部・湯津上・須賀川地区で見守り活動の組織を立ち上げました。

未実施地区である金田・野崎・川西・両郷地区への情報提供や連絡調整など着々と準備を進め、平成26年度には、市内全ての地区に見守り組織が立ち上がることとなりました。

「地区社会福祉協議会」は市内12地区にあり、地域住民が主体となり地区内の地域福祉を進めていますが、自治会ごとに委嘱している「福祉委員」による活動と合わせて、安心生活創造事業による見守り活動と一体となって取り組めるように、情報提供や研修会を行いました。

また、前回まで市と社協それぞれが策定していた地域福祉計画と地域福祉活動計画を一体的にして「第二次大田原市地域福祉計画・大田原市地域福祉活動計画」として策定したことで、市や社協の連携を更に深め、住民主体の地域福祉活動を地区社会福祉協議会やボランティア団体をはじめ、関係機関・団体との幅広い取り組みとして展開する大きな足がかりとなりました。

東日本大震災時の災害時ボランティア支援経験を生かした「災害にも強い地域づくり事業」として、災害ボランティアセンター運営指針に関する協定を関係機関と締結しました。また国際医療福祉大学や関係機関・団体と連携したボランティア振興のための講座の企画・開催などに取り組みました。

このほかに高齢者や障害者、その家族など、介護や生活支援を必要とする方へのサービスとして、介護保険による居宅介護支援事業・訪問介護事業、障害福祉サービス事業、日常生活自立支援事業（あすてらすおおたわら）などを実施しました。

＝平成25年度重点事業＝

- (1) 安心生活創造事業の推進と支援
- (2) 第二次地域福祉活動計画の策定
- (3) 災害にも強い地域づくり事業の推進

目次

1 事業実施状況

(1) 福祉を支える人づくり

- ① 理事会・評議員会の開催 3
- ② 会員加入の推進 6
- ③ 福祉委員活動の推進 6
- ④ ボランティアセンター事業の推進 6
 - ア ボランティア講座の開講
 - (1)ふくし茶話会&ボランティアカフェ 6
 - (2)災害ボランティア講座 7
 - (3)中高生が考える福祉のまちづくり in 大田原 7
 - イ 市ボランティア連絡協議会との連携・協力 8
 - ウ～オ ボランティア保険・登録・機材貸与 8
- ⑤ 福祉教育の推進
 - ア 福祉冊子「ともに生きる」の発行 9
 - イ 学校等への福祉教育の支援 9
- ⑥ 広報事業の推進 10
- ⑦ 社会福祉士養成課程実習生の受入れ 11

(2) 福祉を支える地域づくり

- ① 地区社会福祉協議会活動への支援 11
- ② 地区社協リーダー研修の開催 12
- ③ 食事サービス事業への支援 12
- ④ 心配ごと相談事業の実施 13
- ⑤ 地域福祉活動計画の推進 13
- ⑥ 市福祉センター、市ボランティア活動センターの管理運営 15

(3) 生きがいのある地域づくり

- ① 安心生活創造事業の推進 15
 - ア各地区の状況 16
 - イ視察受け入れ、実践発表等 20
 - ウ会議等 21
- ② 災害にも強い地域づくり事業の推進
 - ア 災害ボランティアセンター運営連絡会の設置・開催 22
 - イ「災害ボランティアセンター運営に関する協定」の締結 22
 - ウ 非難している人への支援 22
- ③ 地域福祉啓発イベントの支援 23
 - ア 「第25回与一の里大田原市産業文化祭」等への参加 23
 - イ ぼくらのまちのウォークラリーの開催支援 23
- ④ 生きがい講座の開催 23
- ⑤ 歳末見舞金の配付 23

(4) 健康に生活するための環境づくり

- ① ねたきり高齢者等紙おむつ等給付事業の推進 23
- ② 高齢者等外出支援事業の推進 24
- ③ 友愛訪問活動への支援 24
- ④ 日常生活用具貸与事業の推進 24
- ⑤ 低所得者対策等の推進 24
 - ア 生活福祉資金 24
 - イ 福祉金庫 25
- ⑥ 日常生活自立支援事業（愛称：あすてらす）の推進 25
- ⑦ 居宅介護支援事業・訪問介護事業の推進 26
 - ア 介護保険法による在宅サービス事業所としての事業 26
 - イ 介護予防支援事業の業務受託 26
- ⑧ 障害福祉サービスの推進 27

⑨ 受託訪問介護事業の推進	27
⑩ 福祉サービス苦情解決に関する第三者委員会の設置	27
(5) 財産基盤の確立	
① 共同募金事業への協力推進	28
② 善意銀行の運営推進	28
⑥ 地域福祉資金の造成推進	29
2 その他の事項	
表彰等	30

1. 事業実施状況

(1) 福祉を支える人づくり

①理事会・評議員会の開催

・理事会

○第1回理事会 平成25年5月14日 午後3時30分～ 市福祉センター

＝報告＝

報告第 1号 会長の専決処分事項の報告について（平成24年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計補正予算（第2号）について）

＝議案＝

議案第 1号 平成24年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の認定について

議案第 2号 平成24年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計収支決算の認定について

議案第 3号 平成24年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会公益事業特別会計収支決算の認定について

＝会計監査報告＝

議案第 4号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員の選任について

議案第 5号 大田原市社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について

○第2回理事会 平成25年5月28日 午後3時30分～ 市福祉センター

＝議案＝

議案第 6号 会長、副会長の選任について

議案第 7号 会長職務代理者の指名について

議案第 8号 会長職務代理者（利益相反、双方代理）の選任について

議案第 9号 評議員の選任について

=報告=

報告第 2号 常務理事の指名について

○第3回理事会 平成25年12月24日 午後1時30分～ 市福祉センター

=議案=

議案第10号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員の選任について

議案第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会福祉サービスにおける
苦情解決に関する第三者委員の承認について

議案第12号 平成25年度善意銀行払い出しの配分について

議案第13号 平成25年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計
補正予算（第1号）について

議案第14号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部変更について

議案第15号 大田原市社会福祉協議会指定特定相談支援事業所及び指定障害
児相談支援事業所運営規程の制定について

○第4回理事会 平成26年3月24日 午後3時30分～ 市福祉センター

=議案=

議案第16号 副会長の選任について

議案第17号 会長職務代理者の指名について

議案第18号 会長職務代理者（利益相反、双方代理）の選任について

議案第19号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部変更について

議案第20号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会経理規程の一部を改正
する規程の制定について

議案第21号 大田原市社会福祉協議会指定障害福祉サービス居宅介護事業
所運営規程の一部を改正する規程の制定について

議案第22号 平成26年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画
（案）について

議案第23号 平成26年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計
収支予算（案）について

議案第24号 平成26年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会公益事業特別会計収支予算(案)について

・評議員会

○第1回評議員会 平成25年5月24日 午後1時30分～ 市福祉センター

＝報告＝

報告第 1号 会長の専決処分事項の報告について(平成24年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計補正予算(第2号)について)

＝議案＝

議案第 1号 平成24年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について

議案第 2号 平成24年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計収支決算の承認について

議案第 3号 平成24年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会公益事業特別会計収支決算の承認について

＝会計監査報告＝

議案第 4号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員を選任について

議案第 5号 大田原市社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について

○第2回評議員会 平成25年12月26日午後1時30分～ 市福祉センター

＝議案＝

議案第 6号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員を選任について

議案第 7号 平成25年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計補正予算(第1号)について

議案第 8号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部変更について

議案第 9号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業所運営規程の制定について

○第3回評議員会 平成26年3月27日 午後1時30分～ 市福祉センター

＝議案＝

- 議案第10号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款の一部変更について
- 議案第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第12号 大田原市社会福祉協議会指定障害福祉サービス居宅介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について
- 議案第13号 平成26年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画(案)について
- 議案第14号 平成26年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会一般会計収支予算(案)について
- 議案第15号 平成26年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会公益事業特別会計収支予算(案)について

② 会員加入の推進

社会福祉への理解と協力を求め、普通会员、特別会員、賛助会員の加入促進に努めた。

[会員加入の状況]

	会 費	会 員 数	納入会費金額	金額前年比
普通会员	500円	16,612 世帯	8,306,400円	99.6 %
特別会員	1,000円	779 事業所	998,000円	113.9 %
賛助会員	5,000円	30 施設	150,000円	110.3 %
計			9,454,400円	101.1 %

③ 福祉委員活動の推進

福祉委員は、各自治会長の推薦により170名が活動を行った。小地域福祉ネットワークの活動の推進役として、福祉委員は見守り対象者を把握し、隣近所やボランティアなどの協力を得ながら、一人暮らし高齢者等に対する見守り活動を行った。

- ・ 新任研修会の開催（5月29日）
- ・ 福祉委員活動に関するアンケートの実施（1月）
- ・ 見守りネット通信の発行（10月・3月）

④ ボランティアセンター事業の推進

ア. ボランティア講座の開講

- (1) ふくし茶話会&ボランティアカフェ

学生と地域の方が活動をとおしてかかわりを深めること、学生は地域に目向け、地域の方と接することで視野を広げること、地域では、主に熟年世代の方がボランティア活動を始めきっかけづくりとすることをねらいに、国際医療福祉大学IUHWボランティアセンターと合同で開催した。

- ・日 時：9月29日（日） 午前10時～午後4時
- ・場 所：大田原市ボランティアセンター ユーアイ館
- ・参加者：33名
- ・内 容：まち歩きとグループワーク
ゲストの案内によりまちを歩き、自分たちの身近な地域を知り、どんなまちしていきたいか、自分たちにできることについて話し合った。
- ・ゲスト：渋谷仁一さん（紫塚地区社会福祉協議会）
永塚和子さん（高齢者の福祉を考える会ぶらんこの会）
藤田三夫さん（世代間交流喫茶いってみっけ）

(2)災害ボランティア講座

災害発生時に、被災した市民の自立の手助けとなるように、また、全国から集まる災害ボランティアの活動を適切に支援できるように、平常時から災害ボランティアを育成することをねらいに実施した。

- ・日 時：2月2日（日） 午前9時30分～午後3時30分
- ・場 所：大田原市勤労者総合福祉センター
- ・参加者：64名（一般参加者43名、社協職員21名）
- ・内 容：災害時要援護者はどんなことで困るの？
災害時のトイレはどうなるの？
① 避難所運営ゲーム「HUG」をやってみよう
② ダンボールでトイレを作ってみよう
- ・講 師：認定NPO 法人とちぎボランティアネットワーク
事務局長 矢野正広氏 他
- ・その他：炊き出し訓練（協力：大田原西部地区社会福祉協議会）
- ・社協職員の参加：災害発生時において、市民の生活を支えるために社協職員がかかわるといふ共通の認識をもち、日頃から業務の中で災害に備えるため、職員も講座を受講した。

(3)中高校生が考える福祉のまちづくりin大田原

感受性豊かな年代である中・高校生が、障がいのある方や高齢の方と一緒に地域を歩いてみることで、今まで気づかなかったことに気付き、「やさしいまちづくり」に大切なこと、必要なことは何かということ地域の方と共に考え、グループワークをとおして共有し、福祉のまちづくりの担い手となっていくことをねらいに実施した。

- ・日 時：8月7日（水） 午前10時～午後3時40分
- ・場 所：大田原市福祉センター内 研修室

- ・参加者：49名
- ・テーマ：～障がいのある方や高齢者にとって、
やさしいまちづくりについて考えよう。～
- 講話「やさしいまちづくりに障害になっているもの」
- まち歩き ○炊き出し訓練
- グループ会食 ○「バリアフリー」について話し合う。
- グループワーク

イ. 市ボランティア連絡協議会との連携・協力

市ボランティア連絡協議会が実施する各種福祉活動（与一まつりしあわせ広場、手作り弁当の配布等）への連携・協力を行った。

ウ. ボランティア保険の加入促進

種別	年間保険料	死亡保険金額	加入者数	前年度加入数	前年比
Aプラン	300円	1,200万円	2,403人	2,256人	106.5%
Bプラン	450円	1,800万円	382人	396人	96.5%
天災タイプA	460円	1,200万円	94人	223人	42.2%
天災タイプB	690円	1,800万円	75人	48人	156.3%
計			2,954人	2,923人	101.1%

エ. ボランティア登録の推進

ボランティア情報紙「だいすき」での情報の提供、県等から送付されるボランティア情報の提供、各福祉施設のボランティア要請情報の提供等を行った。ボランティアに関する相談に応じ、ボランティア活動をして欲しい人とボランティアしたい人の橋渡し（ボランティアコーディネート）を行った。

区分	団体数	登録者数	ボランティア相談	ボランティアコーディネート
平成25年度	139団体	4,238名	60件	19件

オ. ボランティア活動機材の貸与

点字プリンター、点字盤、アイマスク、車いす等を貸与し、ボランティア団体や、小・中学校の「総合的な学習の時間」を活用した福祉教育の支援に努めた。

品 目	延べ利用件数	品 目	延べ利用件数
車いす	73 台	カセットテープレコーダー	0 回
アイマスク	45 枚	移動式スクリーン	16 回
点字盤	166 台	ビデオ・DVD	0 回
点字プリンター	0 回	書籍等	1 回
高齢者擬似体験用具	85 体	その他	199 回

⑤ 福祉教育の推進

ア. 福祉教育副読本「ともに生きる」の発行

平成24年度に第5回改訂を行った福祉教育副読本「ともに生きる」を、市内の小学校1・2・3年生(2,180部)、4・5・6年生(2,400部)、及び中学1・2・3年生(2,400部)を対象に配布し、義務教育年代における福祉教育の振興に努めた。

イ. 学校等の福祉教育への支援

小・中学校等の学校教育の現場へ、障がい当事者や、福祉教育支援ボランティア「ささえ」を中心とする地域のボランティアとともに社協職員が出向き、児童・生徒に対する福祉教育を支援した。

福祉とは「みんなの『**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ』を目指すもの」であり、自分やまわりの人にも関係するものであることを児童・生徒に伝えた。

また、学校からの相談に応じ、講師との調整や資料提供などコーディネートを行った。他に児童生徒の相談に応じた。

○学校等への福祉教育支援状況一覧

	実施日	学校等	対象	参加者数	内容
1	6月3日	両郷中央小	4年生	12人	福祉の話、高齢者擬似体験
2	6月7日	薄葉小	6年生 保護者	80人	福祉の話、高齢者擬似体験、アイマスク体験、車いす体験
3	6月10日	福原小	4年生	4人	点字学習
4	6月11日	佐良土小	3年生	12人	車いす体験
5	6月11日	佐良土小	4年生	9人	車いす体験
6	6月13日	佐久山小	4年生	17人	見えない方との交流・アイマスク・点字学習
7	6月20日	奥沢小	5年生	16人	福祉の話、車いす体験、高齢者擬似体験、高齢者との接し方

8	6月25日	親園小	5年生	20人	福祉の話、高齢者疑似体験
9	6月27日	佐久山小	4年生	17人	福祉の話、高齢者疑似体験
10	6月28日	川西小	4年生	48人	車いす利用者の話、車いす体験、 高齢者疑似体験
11	6月28日	親園中	3年生	35人	車いす体験、講話
12	7月9日	親園小	4年生	28人	点字体験
13	7月12日	石上小	4年生	14人	講話、車いす体験
14	8月29日	金田南中	3年生	28人	福祉の話、車いす体験、高齢者疑似 体験、点字学習
15	9月4日	佐良土小	2年生	12人	手話体験
16	9月11日	佐良土小	1年生	10人	アイマスク体験
17	9月17・18日	西原小	4年生	167人	福祉の話、高齢者疑似体験、年を とること、ワークショップ
18	9月26日	佐良土小	6年生	10人	介護体験
19	10月28日	宇田川小	4年生	16人	福祉の話、高齢者疑似体験、車い す体験
20	10月30日	佐良土小	5年生	7人	高齢者疑似体験
21	10月31日	湯津上小	5年生	16人	高齢者疑似体験
22	11月11日	西原小	4年生	167人	聞こえない方のお話・手話体験
23	11月19日	薄葉小	4年生	36人	点字学習
24	11月20日	金丸小	5年生	17人	福祉の話、アイマスク、高齢者疑 似体験
25	11月27日	薄葉小	4年生	36人	手話体験
26	12月5日	市野沢小	4年生	54人	福祉の話、高齢者疑似体験
27	12月9日	西原小	4年生	167人	見えない方のお話
28	12月11日	西原小	4年生	167人	車いす利用者の方のお話
29	1月15日	両郷中央 小	1年生	7人	見えない方の話、アイマスク体験
30	2月18日	両郷中央 小	5年生	22人	見えない方の話、点字学習
				1,251人	

⑥ 広報事業の推進

ア. 機関紙「おおたわら社協だより」等の広報活動の推進

機関紙「おおたわら社協だより」の裏面から2ページ分をボランティア情報紙「だいすき」として合わせて発行し、各種事業の周知、理事会・評議員会の動き、ボランティアの紹介等紙面の充実に努めた。(年6回市内全戸配布)

また「おおたわらこども社協だより」を発行し、子どもの頃から地域福祉に親しみ
 がもてるよう、児童・生徒に配布した。(年2回市内小中学校に配布)

イ. ホームページでの広報

事業や各種福祉サービス、ボランティア、地区社会福祉協議会活動等を紹介
 し、地域福祉活動の情報提供を行った。

⑦ 社会福祉士養成課程実習生の受入れ

福祉に携わる人材の育成をねらいに、7月29日～8月30日の23日間、社
 会福祉士養成課程の実習生5名を受け入れた。開かれた社会福祉協議会として
 実習生を適切に受け入れることが社会福祉協議会の評価や、職員の資質の向上に
 もつながる。

(2) 福祉を支える地域づくり

① 地区社会福祉協議会活動への支援

地区社会福祉協議会が実施する事業活動について、支援を行うとともに、加入
 普通会員一人あたり250円の活動助成金を交付した。

各地区社会福祉協議会の主な事業活動は、次のとおりであった。

地区社協名	助成金	主な事業活動
大田原東部地区社協	529,100円	ふれあい広場、食事サービス(月1回) 「東部社協だより」発行等
大田原西部地区社協	640,500円	あったか広場、食事サービス(月4回) 「あったかだより」の発行等
紫塚地区社協	314,250円	ふれあい紫広場、食事サービス(月3回) 「むらさきづか社協だより」の発行等
金田地区社協	714,500円	食事サービス(月2回)、研修会等
親園地区社協	216,000円	食事サービス(月2回)、「親園福祉だより」の 発行等
野崎地区社協	438,850円	ふくしのまち野崎文化祭、食事サービス (月4回)、「ふくしのまち野崎」の発行等
佐久山地区社協	172,250円	食事サービス(月2回)、「佐久山ふくしだより」 発行等
湯津上地区社協	265,250円	友愛訪問食事サービス(月1回)、世代間交流事 業(縄よじり・豊年棒づくり)、地区社協だより 「ゆうあい」発行(2回)、ふれあいゆうあい広場
黒羽地区社協	259,750円	友愛訪問食事サービス(月1回)、ひとり暮らし高 齢者会食等

川西地区社協	328,500円	友愛訪問食事サービス(年6回)、ひとり暮らし高齢者会食会、見守り連絡体制づくり、地区社協だよりの発行、ふれあい敬老会支援
両郷地区社協	136,000円	学校安全パトロール、見守り連絡体制づくり、友愛訪問食事サービス(月1回)、地区社協だよりの発行、ふれあい敬老会支援
須賀川地区社協	138,250円	友愛訪問食事サービス(年8回)、ひとり暮らし高齢者会食会、ふれあい敬老会支援
計	4,153,200円	

② 地区社協リーダー研修の開催

地区社協の役割を確認し、地域福祉推進の仕掛け人となるリーダーを育成することを目的に開催した。

- ・日 時：9月27日（金）午後2時～午後4時
- ・場 所：市福祉センター
- ・参加者：地区社協関係者44人
- ・内 容：講話、グループワーク

「地域座談会の声から考えよう！地区社協活動+1（プラスワン）」

講師：国際医療福祉大学マネジメント学科 大石剛史先生

③ 食事サービス事業への支援

各地区社会福祉協議会等が実施している、ひとり暮らし高齢者等を対象とした、「食事サービス事業」に対して、1食あたり400円の助成を行った。配布時には見守り活動も兼ねている。

地区社協名	25年度食事数	実施回数	対象者数	前年度食事数
大田原東部地区社協	876食	12回	77人	889食
大田原西部地区社協	2,006食	48回	62人	1,871食
紫塚地区社協	1,906食	36回	56人	2,295食
金田地区社協	907食	24回	44人	888食
親園地区社協	269食	24回	12人	260食
野崎地区社協	1,059食	92回	13人	1,119食
佐久山地区社協	454食	23回	23人	512食
湯津上地区社協	773食	12回	70人	806食
黒羽地区社協	654食	10回	75人	537食
川西地区社協	476食	6回	85人	448食

両郷地区社協	225 食	12回	40 人	179 食
須賀川地区社協	243 食	8回	88 人	233 食
市ボランティア連絡協議会 (黒羽支部)	559 食	4回	76 人	529 食
合 計	10,407 食	311回	721 人	10,566 食

(助成総額 4,162,800 円 内共同募金から 3,451,056円)

④ 心配ごと相談事業の実施

市からの受託事業として「心配ごと相談事業」を行った。市民の日常生活上の心配ごとの相談に応じるため、民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、福祉センター及び社協各支所内に相談所を開設した。また、随時電話や窓口において生活相談などを受け付けた。

○心配ごと相談開催日

地区	相談日	時 間	場 所	回数
大田原	毎週金曜日	9:00～正午	市福祉センター	48回
湯津上	毎月第1水曜日	13:00～16:00	佐良土多目的交流センター	11回
黒 羽	毎月第1・3木曜日	9:00～正午	社協黒羽支所	23回

○心配ごと相談種別ごとの年間利用状況（総件数30件）

種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数
生計	4	職業・生業	0	家族	8	健康・衛生	0	医療	1	人権	0
年金	1	住宅	4	結婚	2	離婚	1	事故		財産	4
精神衛生	2	児童福祉	0	教育・青少年	0	心身障害	0	老人福祉		母子福祉	
その他	2	苦情	1								

○その他の相談件数 116件（社協窓口での相談件数）

⑤ 地域福祉活動計画の推進

計画の最終年度として第二次計画を一体的に進めるために市福祉課との協働で第二次地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定した。地域福祉に関わる様々な分野からの意見を計画に反映させるため、計画策定にあたり、地域の現状を把握するために地区社協のエリアごとに地域座談会を開催した。（詳細は下記の表）

策定作業については、「大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会」及び「作業部会」を設置し、意見の整理・分析作業を行い地域の意見を反映できるよう進めた。

策定委員会は学識経験者、地域福祉活動実践者、福祉関係事業者、高齢、障が

い当事者などの関係団体やボランティア団体などの代表者27名、作業部会は同じように40名の委員で構成され検討した。

基本目標を『おたがいを おもいやり たのしく わらってくださるまち大田原』とした。

○地域座談会

No.	地区社協名	月日（曜日）	時 間	会 場	参加人数
1	湯津上地区	7月30日（火）	午後7時～8時30分	湯津上地区公民館	41
2	金田地区	8月7日（水）	午後7時～8時30分	金田北地区公民館	31
3	東部地区	8月19日（月）	午後1時30分～3時	東地区公民館	38
4	紫塚地区	8月22日（木）	午後7時～8時30分	文化会館	27
5	親園地区	8月26日（月）	午後7時～8時30分	親園地区公民館	25
6	川西地区	8月27日（火）	午後7時～8時30分	川西ほほえみセンター	27
7	両郷地区	8月28日（水）	午後7時～8時30分	両郷地区コミュニティセンター	34
8	黒羽地区	8月29日（木）	午後1時30分～3時	黒羽川西地区公民館	25
9	須賀川地区	8月30日（金）	午後7時～8時30分	須賀川地区公民館	14
10	佐久山地区	9月5日（木）	午後7時～8時30分	佐久山地区公民館	27
11	西部地区	9月9日（月）	午後1時30分～3時	市福祉センター	34
12	野崎地区	9月20日（金）	午後7時～8時30分	野崎地区公民館	36
計 座談会参加人数（延べ）					359

○策定委員会

会議	開催日	内 容	出席者数
研修会	7月11日	作業部会との合同研修会 「地域福祉計画・地域福祉活動計画とは」 国際医療福祉大学 林 和美先生	50
第1回	7月11日	地域福祉計画・地域福祉活動計画概要と経過 スケジュール	22

第2回	11月19日	第一次計画評価、作業部会からの中間報告	14
第3回	1月31日	基本理念、基本目標、実施計画について	19
第4回	2月21日	計画最終案	18

○作業部会

会議	開催日	内 容	出席者数
第1回	8月21日	計画の概要、部会長、副部会長選任 大まかなスケジュール	31
第2回	9月19日	第一次計画評価、作業部会からの中間報告 意見分析作業(グループワーク)他	32
第3回	10月 8日	意見分析作業 (グループワーク) 他	31
	11月19日	作業部会リーダー・サブリーダー会	9
第4回	12月 6日	基本目標、グループワーク	27
第5回	1月31日	基本理念、基本目標、実施計画素案	29

⑥ 市福祉センター、市ボランティア活動センター（ユアアイ館）の管理運営

市からの委託を受けて、市福祉センター及び市ボランティア活動センター（ユアアイ館）の管理運営にあたり、各種講座や会合、集会等に次のとおり利用があった。また、ボランティア活動センターは中心市街地活性化事業のため、平成25年11月末に閉館した。

区 分	総数	研修室	婦人室	調理室	相談室
市福祉センター	561件	232件	167件	58件	104件
ボランティア活動センター	597件	平成25年11月末に閉館			

○「おもちゃの図書館」の運営

おもちゃ遊びをとおして、障がいのある児童もない児童もふれあい、交流活動が行えるように福祉センター内に設置している「おもちゃの図書館」の運営を行った。

(3) 生きがいのある地域づくり

① 安心生活創造事業の推進

少子高齢化社会の進展による人口の減少とともに、単身世帯の増加や近隣関係の希薄化など、社会から孤立する人が生じやすい環境となり、従来の見守りや制度からもれる人を社会から孤立させずに支援していく仕組みづくりを行う厚生労働省のモデル事業「安心生活創造事業」について、大田原市からその一部を受託

し、平成21年度から地区社会福祉協議会を実施エリアとして、自治会ごとの見守りや買い物支援などを基盤支援として、市、地域包括支援センター、警察や消防などの関係機関団体と連携し、次のように実施した。

○平成21年度から進捗状況

平成21年度 黒羽見守り助け合い隊発足

平成22年度 佐久山おもいやり隊発足

平成23年度 紫塚地区見守り隊発足

平成24年度 ちかその思いやり隊、西部地区あったか思いやりの会発足

平成25年度 須賀川見守り隊、ゆづかみ見守り隊、東部地区見守り隊発足

※両郷地区（平成25年度実施予定）においては、地元の要望により、支え合いマップの作成や訪問調査を先行実施。

ア.各地区の状況

(1)黒羽見守り助け合い隊

・隊の概要

発足式年月日	平成22年3月16日
自治会数	13自治会
見守り対象者数	146名
隊員数	81名

・平成25年度事業経過

4月26日	買い物ツアー（ザ・ビッグエクストラ那須塩原店）
5月25日	茶話会（堀之内、北区、南区東、南区西自治会）
6月27日	隊長会議（活動報告、活動計画、活動費支給）
7月2日	推進会議（活動報告、活動計画）
7月5日	福島市民生委員協議会視察研修受け入れ
10月22日	隊員研修会（視察）
10月26日	茶話会（北滝、片田、亀久、矢倉自治会）（台風にて中止）
11月5日	ふれあいサロン（黒羽・川西地区社協と合同で実施）
11月10日	くろばね秋祭り参加（募金活動）
11月22日	買い物ツアー（ヨークベニマル那須塩原店）
3月3日	茶わ会（黒羽川西地区公民館）

(2)佐久山おもいやり隊

・隊の概要

発足式年月日	平成23年2月8日
自治会数	17自治会
見守り対象者数	165名
隊員数	123名

・平成25年度事業経過

5月14日	推進会議（要綱改正、活動報告、活動計画）
6月11日	隊長会議（隊員研修・茶話会等の協議、活動費支給）
6月27日	隊員研修（認知症サポーター養成講座）
7月5日	福島市民生委員協議会視察研修受け入れ
7月19日	隊員研修（新潟県三条市視察研修）
8月1日	茶話会（福原地区）
8月8日	隊長会議（消防署モデル事業協議、会食会協議）
8月20日	会食会
8月20日	民生委員との情報交換会
8月24日	防災訓練（上町・新町自治会）
9月12日	隊長会議（消防モデル事業、買物ツアーの協議等）
9月15日 ～10月	各地区隊員が住宅用火災警報器消火器配布モデル事業による火災警報器、消火器の配布・設置
10月28日	買物ツアー（ザ・ビックエクストラさくら店）
11月17日	佐久山産業文化祭参加（バザー）
12月2日	民生委員との情報交換会
12月11日	小山市中地区社協視察受入
2月13日	悪徳商法被害防止講演会（協賛）
2月21日	推進会議
3月25日	新旧隊長会議

(3)紫塚地区見守り隊

・ 隊の概要

発足式年月日	平成23年7月24日
自治会数	7自治会
見守り対象者数	113名
隊員数	71名

・ 平成25年度事業経過

6月1日	新旧隊長会議（活動報告、活動計画）
6月23日	隊長会議（活動報告、活動計画、活動費支給）
7月7日	推進会議（活動報告、活動計画、お楽しみ会の協議）
7月22日	地域支え合いマップ作り（沼の袋自治会）
7月29日	お楽しみ会
8月6日	対象者見え消し作業（沼の袋自治会）
8月20日	地域支え合いマップ作り（深川自治会）
9月13日	対象者見え消し作業（深川自治会）
9月～26年1月	戸別訪問（沼の袋、深川自治会）
12月1日	見守り隊だより発行（紫塚地区全戸配布）
1月21日	隊長会議（活動報告、活動計画、活動件数）

通年	各地区隊で実情に合った独自の活動を展開
----	---------------------

(4)ちかその思いやり隊

・隊の概要

発足式年月日	平成24年11月30日
自治会数	9自治会
見守り対象者数	233名
隊員数	114名

・平成25年度事業経過

4月10日	推進会議（活動報告、活動計画、戸別訪問協議）
4月～5月	戸別訪問（その他世帯）
6月18日	隊長会議（会食会・文化祭参加の協議、活動費支給）
8月29日	隊長会議（会食会の協議）
10月7日	会食会、民生委員との情報交換会
10月23日	隊長会議（文化祭参加の協議）
11月10日	親園地区文化祭（バザー）
12月2日	民生委員との情報交換会
2月28日	隊長会議（見守り活動の課題、推薦委員会結果等）
3月27日	新旧隊長会議（事業概要説明、活動記録、H26事業計画）

(5)西部地区あったか思いやりの会

・会の概要

発足式年月日	平成25年2月4日
自治会数	9自治会
見守り対象者数	233名
会員数	134名

・平成25年度事業経過

4月18日	地区会長会議（戸別訪問、活動計画）
5月8日	推進会議（戸別訪問、活動計画）
5月～6月	戸別訪問（高齢者世帯）
7月3日	地区会長会議（戸別訪問、活動計画）
7月30日	加治屋自治会認知症サポーター要請講座
7月～9月	戸別訪問（日中一人暮らし高齢者世帯）
8月22日	西原自治会打合せ
8月28日	赤堀西自治会打合せ
10月23日	西部地区あったか広場（中止）
11月5日	赤堀東地区打合せ
11月7日	あったか思いやりの会通信NO1発行（会員向け）

1 2月1 3日	民生委員・児童委員情報交換会、引継ぎ
2月1日	あったか思いやりの会便りNO1発行（西部地区全世帯）
2月20日	地区会長会議
3月1 2日	推進会議

(6)須賀川地区見守り隊

・隊の概要

発足式年月日	平成25年10月29日
自治会数	11自治会
見守り対象者数	179名
隊員数	116名

・平成25年度事業経過

5月8日	須賀川地区社協理事会（経過報告）
5月10日	事業事前打ち合わせ（経過報告、今後の予定、組織編制）
5月28日	須賀川地区社協総会（事業方針説明）
6月6日	全体会議（経過報告、今後の予定、組織編制、要綱）
6月22日～ 6月28日	対象者見え消し作業
7月～8月	ロゴマーク・キャッチフレーズ募集（須賀川小）
7月24日～ 8月23日	戸別訪問（全自治会）
9月10日	隊長会議（ロゴマーク等審査）
9月25日	推進会議（今後の進め方）
10月29日	発足式
12月1日	須賀川新そば祭り参加（普及啓発）
2月6日	隊長会議（事業内容検討）

(7)ゆづかみ見守り隊

・隊の概要

発足式年月日	平成25年11月8日
自治会数	13自治会（地区隊数:11）
見守り対象者数	134名
隊員数	259名

・平成25年度事業経過

5月1日	安心生活創造事業事前検討会（今後の進め方）
5月19日～ 6月23日	地区説明会及びマップ作り（全自治会）
7月12日	代表者会議（経過報告、組織編成、今後の予定）
7月20日～ 8月30日	ロゴマーク・キャッチフレーズ募集（湯津上地区小中学校）

7月22日～ 9月25日	対象者絞込み作業（候補者数 703 名を 132 名に絞込み）
9月11日～ 10月15日	戸別訪問（品川、湯津上と下、狭原・片府田）
10月4日	隊長会議(推進経過・活動計画並びに収支予算・ロゴマークとキャッチフレーズ最終審査)
11月8日	発足式
11月15日～ 12月4日	戸別訪問（新宿、蛭畑、中の原、蛭田、小船渡・佐良土） 134 人中（2 名追加で 134 人）124 人訪問済
1月30日	隊長会議(訪問調査の進行状況他)
3月26日	隊長会議平成 26 年度事業計画(案)、及び予算(案) 新旧 役員の引き継ぎについて
3月30日～	各地区新隊員への説明会

(8)東部地区見守り隊

・隊の概要

発足式年月日	平成25年11月19日
自治会数	25自治会
見守り対象者数	258名
隊員数	407名

・平成25年度事業経過

5月22日	全体説明会（今後の進め方、組織編制等）
6月19日～ 7月30日	地域支え合いマップ作り（25自治会）
6月1日～ 7月15日	ロゴマーク・キャッチフレーズ募集（大田原小）
8月28日～ 9月5日	対象者絞込み作業
9月25日	隊長会議（設置要綱案、組織編制等の検討）
11月14日～	戸別訪問（ひとり暮らし高齢者148世帯）
11月19日	発足式
2月5日	隊長会議
2月25日	推進会議
3月1日～	見守り活動開始（ひとり暮らし高齢者）

イ. 安心生活創造事業関連の視察受け入れ、実践発表一覧

年月日	依頼者	参加人数	内容	会場
5月10日	埼玉県毛呂山町議会	18人	安心生活創造事業による見守り活動の実践について、民生委員との係わりについて	福祉センター

6月18日	那珂川町 民生委員連絡協議会	50人	安心生活創造事業による見守り活動の実践について、民生委員との係わりについて	福祉センター
7月4日	福島市民協	30人	安心生活創造事業（黒羽、佐久山地区）による見守り活動の実践について、民生委員との係わりについて	南別館
8月2日	那須塩原市社協・包括	6人	安心生活創造事業の概要と具体的な取り組み方法について	福祉センター
9月14日	とちぎ地域福祉ネット	125人	パネラー安心生活創造事業概要説明・事例報告(生活支援とのつながり等)	宇都宮パーティ
9月25日	県生活学級くらしの会	30人	基調講演「安心生活による見守り活動の実践」	福祉センター
11月14日	栃木市内の 地区社協代表者	30人	安心生活創造事業の概要等	福祉センター
12月11日	小山市内の地区社協	28人	安心生活創造事業の概要等 佐久山地区社協の取り組みについて	福祉センター
12月13日	明和町住民福祉課 健康づくり課	2人	安心生活創造事業の概要 各団体の役割と事務処理等について	福祉センター
1月28日	千葉県四街道市地区社協	14人	地区社協と安心生活創造事業の事業概要と取り組みについて	福祉センター
2月23日	JVCC	45人	全国ボランティアコーディネーター研究集会において安心生活創造事業事例発表	白鷗大学
2月27日	日光市藤原地区社協	23人	地区社協と安心生活創造事業の事業概要と取り組みについて	福祉センター
3月18日	宇都宮市豊郷町民協	1人	視察受け入れのための事前打ち合わせ	福祉センター
合 計		402人		

ウ. 安心生活創造事業会議等

NO	月 日	内 容	会 場
1	10月18日	第1回安心生活創造事業推進委員会	東地区公民館
2	1月16日	安心生活創造事業関係機関連絡会議	南別館
3	2月18日	第2回安心生活創造事業推進委員会	東地区公民館

○救急医療情報キットの普及支援

大田原市が平成24年10月から配布した「救急医療情報キット」に関し、市社協では、各地区の見守り隊員（会員）と協力して、見守り対象者に対し救急医療情報キットの説明、申請代行、配布を行った。

平成25年度配布本数661本（本所：290本、湯津上支所：53本、黒羽支所：318本）

② 災害にも強い地域づくり事業の推進

ア. 災害ボランティアセンター運営連絡会の開催

災害時のボランティア活動支援を迅速かつ円滑に開設・運営できるよう、また日常の関係団体・機関等の連携を進めるため設置している災害ボランティアセンター運営連絡会を開催した。

「大田原市災害ボランティアセンター」は「大田原市地域防災計画」に基づき、大規模災害発生時などに、災害ボランティアの活動拠点として市社協に設置されるもので、被災地の復旧・復興支援のためのボランティア受入と活動の支援を行うものである。

○構成団体：市民生委員児童委員協議会連合会・市ボランティア連絡協議会・那須野ヶ原青年会議所・IUHWボランティアセンター（国際医療福祉大学）・大田原市（保健福祉部福祉課・総合政策部危機管理課）・市社会福祉協議会

○連絡会の開催（委員13名）

開催日	内 容	出席者数
3月6日	「災害ボランティアセンター運営に関する協定」の締結について	12名

イ. 「災害ボランティアセンター運営に関する協定」の締結

災害発生時に市地域防災計画に基づき設置される災害ボランティアセンターをスムーズに運営するために、「大田原市災害ボランティアセンター運営に関する協定」を締結した。

締結団体：市民生委員児童委員協議会連合会・市ボランティア連絡協議会・那須野ヶ原青年会議所・国際医療福祉大学・大田原市・市社会福祉協議会

ウ. 避難している人への支援

東日本大震災で主に原発の影響で福島県から大田原市内に避難されている方の組織「しゃくなげ交流会」への支援を、世代間交流喫茶「いってみっけ」ともに行った。

③ 地域福祉啓発イベントの開催

ア. 「第25回与一の里大田原市産業文化祭」等への参加

社協事業の紹介PRに努めるとともに、赤い羽根共同募金に対する来場者への協力を要請した。また、黒羽秋まつりに参加し、社協のPR、共同募金活動を実施した。

イ. ぼくらのまちのウォークラリーの開催支援

「ともに生きるまちづくり」について考える地域福祉啓発イベントを企画・実施する「ぼくらのまちのウォークラリー実行委員会」の支援を行った。

子どもも高齢者もハンディのある人もない人も、すべての人たちが一緒に楽しむ体験を通して、相互の理解を図り、連帯感を高め、「ともに生きるまちづくり」を進めることを目的とするものである。

- ・日 時：10月19日（土）午前9時45分～午後1時
- ・場 所：国際医療福祉大学構内
- ・参加者：78名 ボランティア38名 実行委員22名

④ 生きがい講座の開催

仲間づくりや生きがいづくりをねらいとして、高齢者を対象にスポーツダンス初級(藤田定夫講師)、囲碁講座(大久保博講師)の2講座を開催した。陶芸教室(黒羽地区)については、市の高齢者生きがいづくり講座へ移管している。

講 座 名	期 間	受講者数	開催回数
スポーツダンス講座 (市勤労青少年ホーム)	4月～3月の第1・3水曜日	15名	23回
囲碁講座 (福寿草センター)	4月～3月の第2・4土曜日	34名	23回

⑤ 歳末見舞金の配布

民生委員・児童委員の協力を得て対象者を把握し、低所得世帯等に対し共同募金を原資に歳末見舞金を配布した。176世帯に1,144,000円

(4) 健康に生活するための環境づくり

① ねたきり高齢者等紙おむつ等給付事業の推進

在宅のねたきり高齢者等(要介護3以上及び重度の障害者等)を在宅で介護している方に対し、紙おむつ・尿取りパットを無償給付した。

○給付状況（年間5,311人）

・対象者数 443人（年平均） ・給付金額 17,439,102円 （前年比94.6%）					
・種類別給付数					
種 別	パンツ型	はくパンツ型	フラット型	その他	合 計
紙おむつ	1,820パック	3,245パック	31パック	80パック	5,096パック
尿とりパット	10,013パック			250パック	10,263パック

※パンツ型はくパンツ型は、1パックに約30枚、フラット型は1パックに50枚入

② 高齢者等外出支援事業の推進

在宅のひとり暮らし高齢者等の通院等に必要な交通の便を確保し、福祉の向上を図ることを目的とした、「大田原市高齢者等外出支援事業」を市から受託し、運行業務、車両管理業務等は、山和タクシー・NPO法人サポートセンター清流に委託し事業の適切な運営に努めた。

○外出支援事業延べ利用回数 16,453回（受委託金額 23,428,900円）

③ 友愛訪問活動への支援

地域のひとり暮らしや寝たきりの高齢者等の孤立を防止し、社会参加を促進することをねらいに、老人クラブの協力を得て、月2回～3回の友愛訪問活動を実施し、1老人クラブ5,000円の助成を行った。（平成25年度は、25クラブに助成。）

④ 日常生活用具貸与事業の推進

在宅の寝たきり高齢者及び重度の障がい者等に対して、日常生活用具を貸与することにより、福祉の増進を図ることを目的に、ギャッジベッド、車椅子など2品目について無償貸与した。

○品目別貸与状況

地区	貸出件数		保有台数	
	ベッド	車いす	ベッド	車いす
本所	55件	113件	24台	45台
湯津上支所	0件	2件	0台	4台
黒羽支所	26件	20件	1台	6台
計	81件	135件	25台	55台

⑤ 低所得者対策等の推進

ア. 生活福祉資金

県社会福祉協議会からの受託事務として、生活福祉資金の貸付・償還事務を行った。貸付種類は「総合支援資金」「福祉資金」「教育支援資金」「不動産担保型生活資金」等4種類である。低所得者世帯、失業者、障害者世帯及び高

高齢者世帯で、一定の所得基準の範囲内世帯を対象として実施した。

○貸付・償還状況（平成25年度）

貸付	新規貸付 4件	福祉資金1件、福祉資金（緊急小口資金）1件、総合支援資金2件
	貸付中 2件	教育支援資金1件、福祉費（緊急小口資金）1件
償還	償還中 51件	福祉資金9件、福祉資金（緊急小口資金）10件、教育支援資金16件、離職者支援資金3件、総合支援資金11件、臨時特例つなぎ資金2件
	償還完了 9件	福祉資金3件、福祉資金（緊急小口資金）3件、教育支援資金2件、離職者支援資金1件
相談	129件	貸付に関する相談

イ. 福祉金庫の貸付け

福祉金庫設置要領に基づき、低所得層に対する生活、医療等の費用の少額資金一時融資を行っている。善意銀行の拠出金を原資として、1借受人2万円を限度として10ヶ月無利子月賦償還する制度である。

○貸付・償還状況（平成25年度）

前年度末残高 A		1,865,279円	・前年度償還未済額 679,000円
25年度	貸付金額 B	580,000円	・新規貸出件数30件
	償還金額 C	440,000円	・償還完了件数19件
	預金利子 D	379円	・普通預金利子
	残高 E	1,725,658円	年度繰越 (A-B+C+D)
	相談	80件	貸付に関する相談

※年度末貸付償還未済額は、839,000円

⑥ 日常生活自立支援事業（あすてらす）の推進

高齢者、障がい者等で収支の判断が不十分な方の金銭管理や書類預かり等を行う、日常生活自立支援事業（あすてらす おおたわら）を下記のとおり実施した。制度の推進を図るため、社協だよりへ掲載し制度のPRに努めた。

○あすてらす利用状況

平成25年度状況	生活支援利用者数	備考
年度当初	44名	
新規契約	16名	
解約（死亡・解約）	△11名	死亡7人、申出解約4人
平成25年度末現在	49名	

○受託の状況

	利 用 回 数			受託金額
	初回	2ヵ月以降	合計	1,487,871円
市中央地域包括支援センター	3	36	39	(地区別内訳) 大田原：62人 黒羽：252人 湯津上：46人
市西部地域包括支援センター	0	23	23	
市東部地域包括支援センター	16	282	298	
合 計	19	341	360	

(24年度受託金額：1,397,035円 前年比106.5%)

⑧ 障害福祉サービスの推進

障害者総合支援法に基づく在宅サービス事業所として、在宅の身体障害者等に対し居宅介護等のサービスを実施した。その実施状況は次のとおりである。

	25年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	8,204,628円	8,690,823円	94.4%
年間延べ利用者数	309人	275人	112.4%
(地区別内訳)	大田原：270人 黒羽：39人 湯津上：0人	大田原：241人 黒羽：34人 湯津上：0人	
月平均利用者数	26人	23人	113.0%

⑨ 受託訪問介護事業の推進

介護保険の対象とならない自立認定者等に対しホームヘルパーを派遣する「生活支援ホームヘルプサービス事業」を市から受託し、訪問介護事業を実施した。なお、自立認定者が介護保険対象者となり、徐々に減少する傾向にある。

	25年度実績	前年度実績	前年比
年間受託額	207,000円	223,000円	92.8%
年間延べ利用者数	24人	28人	85.7%
月平均利用者数	2人	2.3人	86.9%

⑩ 福祉サービス苦情解決に関する第三者委員会の設置

各事業所ごとに苦情解決責任者を設け苦情解決を図った。また第三者委員について、任期更新にあたり6名を委嘱した。

(5) 財産基盤の確立

① 共同募金事業への協力推進

社会福祉法人栃木県共同募金会大田原市支会として、10月1日から12月28日までの期間、募金活動を行った。平成25年8月23日に市支会委員会を開催し、募金運動に対する取り組み方針、募金配分先を協議した。

○平成25年度共同募金実績一覧

(単位:円)

種 別	募金目標額	募金実績額	達成率 (%)	前年度実績額
戸別募金	5,808,000	5,856,175	100.8	5,918,115
特別募金	3,420,000	3,440,526	100.6	3,629,254
街頭募金	271,000	207,804	76.7	294,830
学校募金	195,000	329,436	168.9	241,915
職域募金	378,000	448,555	118.7	526,963
イベント募金等	81,000	133,843	165.2	121,801
合 計	10,153,000	10,416,339	102.6	10,732,878

○共同募金配分金事業

平成24年度の募金実績に応じて、県共同募金会から6,228,878円が大田原市支会に配分された。配分先は以下の通り。

- ・食事サービス助成の一部 3,451,056円 (全4,162,800助成の一部)
- ・友愛訪問活動支援 125,000円 (25老人クラブ)
- ・福祉小冊子「ともに生きる」印刷費 808,822円
- ・市ボランティア連絡協議会活動助成 400,000円
- ・市民生委員児童委員協議会連合会助成 300,000円
- ・歳末見舞金配布 1,144,000円 (176世帯)

② 善意銀行の運営推進

社会福祉のために役立つようにと市民等から寄せられた金品等の善意の寄付を有効利用できるよう、適正な善意銀行の運営に努めた。

＝普通預金会計＝

平成25年度収支状況	収入の部	前年度繰越金	5,261,900円	
		預託金額 (H25.4.1～ H26.3.31)	450,932円	預託者(敬称略) 栗原敏子、西部地区社会福祉協議会、やみぞあずまっぺ協議会、大田原市福祉ふれあいまつり実行委員会、(公財)日本電信電話ユーザ協会大田原地区協会、モンマートひのや
		預金利子	1,094円	普通預金利子
		(合計)	5,713,926円	
	支出の部	配分金額	640,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・市ボランティア連絡協議会 260,000円 ・市老人クラブ連合会 80,000円 ・市身障児(者)保護者会 80,000円 ・市身体障害者福祉会 190,000円 ・市母子寡婦福祉連合会 20,000円 ・須賀川見守り隊(指定寄付) 10,000円
		(合計)	640,000円	
		収入支出差引残高	5,073,926円	
物品預託者 (敬省略)	<input type="checkbox"/> 匿名 ベッド1台、紙おむつ <input type="checkbox"/> 小貫順子 草花絵“滝” <input type="checkbox"/> 東芝グループ労働組合連合会那須地区連合会 タオル300枚 <input type="checkbox"/> 連合栃木那須地区協議会 タオル300枚 <input type="checkbox"/> 豊田充 電動ベッド、歩行補助具、車いす <input type="checkbox"/> 屋代甚二郎 梅干し80パック <input type="checkbox"/> 栃木県民共済生活協同組合 軽自動車1台 <input type="checkbox"/> コーヒーカップ 車いす1台 <input type="checkbox"/> 匿名 紙おむつ <input type="checkbox"/> 大田原高校生徒会 雑巾240枚			

③ 地域福祉基金の造成推進

大田原市における地域福祉の増進に役立てるため「地域福祉基金(ぎんなん基金)」が設けられている。寄附、利息等による基金の運用を行っている。

○ 基金運用状況

前年度末基金原資残高 ①	239,333,621円	
平成25年度寄付金額 ②	71,351円	・ 寄付件数 7件 紫塚地区社協、大田原ライオンズクラブ大田原支部、大田原市くらしの会、吉成実、金田南地区コミュニティ推進協議会、湯津上地区公民館高齢者学級女性セミナー、大田原市場設置募金箱
定期預金利息等 ③	1,084,645円	平成23年栃木県公募債利金含
地域福祉推進事業へ繰出 ④	1,084,645円	高齢者等紙おむつ等配布事業費
平成25年度原資取崩額 ⑤	7,634,907円	
本年度末基金原資残高 ① +②+③ - ④ - ⑤	231,770,065円	定期預金へ積立

- その他の事項 -

(1) 表彰等受賞者氏名 (敬称略)

- ・ 8月28日 第19回「県民福祉のつどい」において表彰

○ 栃木県知事表彰

- ・ 共同募金運動協力団体又は協力者 (共募奉仕10年)

小倉正敏 (仲町自治会長)、生田目淳一 (紫塚自治会長)
平井邦夫 (富士見自治会長)、村田幹雄 (若草自治会長)
学校法人国際医療福祉大学

○ 栃木県社会福祉協議会会長表彰

- ・ 民生委員・児童委員功労者 (10年活動)

岡嶋幸子、吉田靖夫、本堂京子、相澤悦子、栗田正雄、坂内ヨシ子、
亀山幸子、大田原美保子、丹治朝子、永山ミサ子、平野トミ子、
佐藤秀子、石井恵子、新江由美子、大久保征美

○ 栃木県共同募金会会長表彰

- ・ 共同募金功労者 (共募奉仕5年)

三浦庄榮 (七軒町自治会長)、渋谷仁一 (成田町自治会長)
菊池茂 (前田一区自治会長)、坂本瞭 (前田二区自治会長)
大森清五 (大輪上自治会長)

- ・ 11月15日 平成25年度「全国社会福祉大会」において表彰

○ 中央共同募金会会長表彰

- ・ 共同募金運動従事功労者

西海敏恵 (大田原市社会福祉協議会)